



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
伊原 忠 ☎(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第253号
2016年2月1日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

一人暮らしの高齢者が安心して見守れる対策を

八千代市では2010年度から2014年度に、平均して30名前後の高齢者の孤独死がおきています。
(高齢者のひとり暮らしは65才以上の方を対象)

福祉的なサービスが行き届いていなかったのか、地域との交流がどうであったのか、いずれにしてもひとりぼっちの高齢者を無くし、地域のみなさんで見守れる環境をつくるのが急がれます。

八千代市ではこうしたひとり暮らしの高齢者やその家族の方々が安心して生活できるように、様々な制度が紹介されているパンフレットを配布しています。高齢者福祉のしおりというパンフレットです。

「しおり」には社会参加の紹介として、ふれあい大学校や長寿会、在宅福祉サービスとして生活支援サービスや寝たきりや認知症家族への支援サービス、そしてひとり暮らしの高齢者のためのサービスが紹介されています。

ひとり暮らしの高齢者サービスとして①配食サービス②緊急通報システム③日常生活用具の給付とあります。

配食サービスへの市の助成を300円に戻せ

しかし、見直しをしていかなければ安心して生活を見守ることはできなくなってきました。

たとえば配食サービスは、対面して手渡しするので、見守り活動として多く活用されていました。昨年度までは1日一食300円の助成があり、600円のお弁当であれば、自己負担は300円でした。しかし、今年度から市の助成は300円から100円に引き下げられたために、同じお弁当でも500円の自己負担となり、負担が大きいのでは断る高齢者が増えています。毎日頼んでいた方は、2.3日に1度とした方もいます。業者によっては週5日以上注文だとされているところもあります。

助成額を300円に戻し、広く利用できるようにしていかなければ、本当の見守り活動といえないと思います。

緊急通報システムを利用しやすく

また、緊急通報システムでは、介護認定を受けている方は65才から、受けていないと75才からと年齢制限がされている上に、この制度が周知されていない問題もあります。

日本共産党への相談のなかで、「生活保護者だけが無料と思っていた」など、間違った情報が伝わっている方もいました。

無料で利用できること、そして必要な方には65才以上であれば利用できるように拡充を求めています。

